

別紙 2 - 2

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 2 月 8 日 (17:30 ~ 19:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	佐々木、藤本、三輪、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	1 人	人	7 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・納得し快くご利用していただくためのニーズや情報収集は今後も行う。 ・速やかに支援ができるよう職員内の情報共有も徹底する。 ・担当制による個別援助計画を継続し、細かな支援に配慮する。 ・多職種連携を積極的に実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集や周知方法に個人差があったため、統一した支援に繋がらないことがあった。 ・担当制をよりよく浸透させるために利用者個別の申し送りを統一化。それにより職員自ら考える支援が発信しやすくなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1 人	5 人	1 人		7 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		7 人			7 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	3 人	4 人			7 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1 人	6 人			7 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者及びその家族との関わりの際に得た情報は、ミーティングや個別の申し送りを書面にしてわかりやすく伝えている。 ・独居の方の生活状況については職員全員で関わりを持ち、利用日ごと家の中の様子を確認している。その中で変化等があれば家族に連絡し状況を伝えている。 ・担当を持つことで細かな支援が行えるようになり、職員自らの発信も増えている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・できている点で行動は出来ているが、職員間での情報収集に時間差があり、同じ支援が出来るまでに時間を要している。 ・日々利用者の変化を書面等で申し送りをしているが、優先した情報収集が出来ていないことも見受けられる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが知り得た情報は担当経由で報告。担当自らが考えることの出来る道筋を強化。 ・提供した情報がいち早く伝達出来るよう、常に呼びかけを行い意識の改善を図る。 ・家族との関わりを持てるよう、管理者やケアマネだけではなく職員も交えた交流を図る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月8日(17:30～19:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 佐々木、藤本、三輪、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	3人	人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">認知症の方に対する様々なアプローチ方法を学び自信のスキル向上を図る。こなす業務だけではなく、考えて行動できる力を養う。常に利用者を知るための意識を持ち、良い情報は共有できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">定期的に参加している職員会議で各担当が利用者の状況を報告。課題が出た場合は職員間で意見を出し合って支援の方向性を見出している。認知度の高い利用者に対する関わり方にはスキルの差が出ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		2人	4人	1人	7人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		1人	5人	1人	7人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4人	3人		7人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2人	5人		7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">利用者の「～したい＝元気でいたい」を支援するために、体調管理や安全面等を最優先に情報を共有している。職員も利用者と同じテーブルにつき同じ時間を共有しているため、何気ない会話から思いや希望を引き出せている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">「～したい」の情報は聞き出せていても、時間が経過すると現状維持になることがあり継続的な支援につながっていない。「本人の目標」や「～したい」が理解出来ても、家族の意向と相違があるため利用者の意向に沿えない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">利用者それぞれの「～したい」が明確な場合、長期的な目標なのか短期的な目標なのかに分けて実践する。「～したい」の支援の進捗状況を会議で定期的に確認し職員の意識(定着)向上を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 2月 8日 (17:30 ~ 19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 佐々木、藤本、三輪、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	2人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの認知症ケアの理解度を上げる。 介護力の底上げをはかりレベルの高い介護を目指す。(偏りを少しでも減らす)
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の状態は利用ごとに把握するよう努めているので、日常の生活支援(基礎的な介護)はその時々 の状況に合わせた対応が出来ていた。 職員の介護力アップや質の向上に対する意識には個人差が見受けられる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3人	3人	1人	7人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2人	5人			7人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		2人	5人		7人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	4人			7人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2人	4人	1人		7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 気付いたことや感じたことは、些細なことでも毎日のミーティングや都度言葉に出すなどして周知共有出来ている。 体調の変化や異変が生じた場合は、主治医や家族と連携し迅速な対応が図れている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 表面的な部分だけでなく、内面的に潜む思いには気付いていないことがある。 「以前の暮らし方」について把握は出来ていても、それを活かした支援につなぎきれていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 準言語と非言語に対する理解を深め、「本人の声にならない声」を言語化し職員間で共有する。 個別援助計画書を定期的に見直し、利用者の現状にあった支援計画を実施する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月8日(17:30～19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 佐々木、藤本、三輪、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	6人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">それぞれの役割をまずしっかりと行いつつ、事業所や家人だけでなく、様々な地域資源を活用した支援体制を意識しながらご利用のサポートにあたる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">事業所の体制が整っていないため、地域資源の活用が限定的になっている。地域資源についての理解が乏しく、新たな試みが見出せなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	3人	3人		7人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		2人	5人		7人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2人	5人		7人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			4人	3人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">利用者と家族の関係性や地域との関係性を理解し、意向に沿う支援が出来る。独居の方の自宅での過ごし方や様子について詳しくわからない部分もあるが、変化があれば都度家族へ連絡(報告)している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">地域との関係性の把握や理解が出来ていない。民生委員との関わりがないため、関係性がわからない。地域資源の理解が不十分。また理解が出来てもどう活用してよいかわからない。家族に対しての積極的な交流が図れていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">利用者家族も園の行事に参加を促し、交流出来る時間を増やしていく。利用者個別の外出を計画する際に、地域資源の活用方法を学んでいく。.

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月8日(17:30～19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 佐々木、藤本、三輪、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・ご利用者には小規模サービスのメリットを活かしたご利用内容を今後も提案していく。・現状以上のサービス拡大を進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・事業所の体制が整っていないため、提供できるサービスが限られていた。・日曜日の休業が続いていたが、可能な範囲内で営業を再開。利用者や家族が希望する日程の調整(変更)には可能な限り対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1人	6人		7人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	4人	2人		7人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2人	5人			7人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	6人			7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・限られた範囲内ではあるが、利用者や家族からの要望は可能であれば柔軟な対応が図れている。・利用者の状態に変化があれば、その都度ミーティングや個別の申し送りにて情報を周知共有。その時の状態に合わせた対応(支援)は出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・小規模本来のサービス提供体制が整っていないため、利用者や家族の意向に沿う支援が行えていない。・地域資源の理解と活用が出来ていないため、ほとんどが事業所内の支援になっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・小規模多機能としての体制の整備。・利用者個別の外出を増やし、地域の今に触れ合う機会を作っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月8日(17:30～19:30)

6. 連携・協働

メンバー 佐々木、藤本、三輪、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	4人	1人	7人

前回の改善計画	・ケアマネや所長が参加した様々な地域の会に対し、報告のあった内容に介護・看護の現場職も興味を持ち、理解を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・他のサービス機関との会議がほとんど出来ていないため、職員への周知も出来なかった。 ・地域の会の理解が不十分なため、職員に伝えられていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1人			6人	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?				7人	7
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1人	3人	3人	7人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			2人	5人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・限られた範囲内であるが、地域の行事に継続的に参加をし交流が図れている。 ・まちづくり協議会や地域の方の協力を得て、地区いきいき塾の活動を継続している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・管理者の認識不足により、各種会議への参加が出来ていない。 ・地域を巻き込んだイベントの開催が出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・必要なサービス機関との接点や交流について、管理者だけではなく職員にも参加機会を作り交流を図る。 ・地域で活躍されているボランティアを園に招致。地域の方にも活躍できる場を作る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月8日(17:30～19:30)

7. 運営

メンバー 佐々木、藤本、三輪、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	2人	4人	7人

前回の改善計画	・外に出て行くだけでなく、1Fのフロアを活用し事業所内で地域交流がはかれるイベント等の開催を目指したい。
前回の改善計画に対する取組み結果	・園で開催する行事のみで、地域の方を招いたイベントの開催は出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1人	1人	4人	1人	7人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5人	2人		7人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		1人	4人	2人	7人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?			2人	5人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・苦情や指摘があった場合は、問題に至る経緯を紐解くため書面での回答を得て職員間で共有し問題解決を図っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域からの苦情がないからわからない。 ・仮に地域からの苦情があっても、園まで声が届いていないと思われる。 ・地域との協働について、取り組み方がわからないため実施が出来ていない。 ・まだまだ小規模多機能の事業内容が浸透していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・定期的に職員の個別面談を実施し、意見交換が出来る場を設ける。 ・顧客満足度調査票等のアンケートを活用し、苦情や要望の聞き取りを強化し運営に反映させる。 ・当施設の事業内容をよりよく知っていただくために、SNSの活用や広報の設置(取り扱い)を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月8日(17:30～19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐々木、藤本、三輪、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	6人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・オンラインなども活用し積極的に研修参加を行っていく。・虐待や感染症の必須研修だけでなく、認知症・権利擁護や介護力アップに繋がるよう内部研修も会議時において適時実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・事業所が必須としている研修はオンラインも活用して参加している。・研修機会の提供、及び資格取得のための支援体制(計画)が整わず実施に至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		1人	5人	1人	7人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか			2人	5人	7人
③	地域連絡会に参加していますか		2人		5人	7人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		2人	2人	3人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・研修に参加しなくても、自身で必要な学びを行っている。・周囲の環境や利用者の状態を把握し、リスク回避の予測を職員間で共有している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・管理者以外地域の連絡会に参加出来ていない。・地域連絡会の内容がわからない。また参加方法がわからない。・介護に関わる資格等の案内提示がないため参加につながらない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・スキルアップが図れるよう、目的にあった研修や資格の習得が出来るよう体制の整備。・リスクマネジメントの意識を高めるため、内部で勉強会を開き適切な対策がとれるよう取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年2月8日(17:30～19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐々木、藤本、三輪、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	1人	1人	7人

前回の改善計画	・ご利用者の権利を守る観点から、人権擁護に関する理解・知識も各人で深めるよう努力していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・丁寧な対応を心掛けていることで、苦情や指摘がほとんど聞かれなかった。 ・利用者のみならず、職員の負担も考慮しながら業務に取り組んでいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7人				7人
②	虐待は行われていない	6人	1人			7人
③	プライバシーが守られている	2人	5人			7人
④	必要な方に成年後見制度を活用している				7人	7人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1人	6人			7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・常に丁寧な対応を心掛けている。 ・職員(お互い)の負担も考慮しながら、よい状態でパフォーマンスが発揮出来るよう心掛けている。 ・利用者と職員間の心理的安全性がほぼ保たれている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・プライバシーに配慮した対応を行っているが、指摘がないことで出来ていると思ってしまう。 ・業務優先となり職員の判断で支援を行ってしまうケースがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・常に「自分が介護される立場だったらどう感じるだろう」という視点で支援を行う。 ・利用者と職員間の心理的安全性を重視し、よい環境を維持していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 丹南厚生会	代表者	芝 拓哉	法人・ 事業所 の特徴	当法人は、高齢者の皆さまの尊厳を重んじ、その人らしい自立生活の支援を行いながら、共に助け合う地域社会の実現に向け事業を行っています。その中で、当事業所は平成 29 年 12 月に小規模多機能型居宅サービスとしてスタートしました。本体である特別養護老人ホームやすらぎ園がバックアップの体制をとりつつ、協力医療機関である西井クリニックが隣接しているので、定期的な受診はもちろん急変時にも早急な連携が可能となっています。また地域のつながりを大切にしながら「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを柔軟に組み合わせ、その人に見合った内容で住み慣れた場所で末長く暮らしていけるよう支援しています。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護センター やすらぎ古市館	管理者	佐々木 勝広		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	2 人	人	1 人	1 人	人	3 人	人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・前年の結果よりも出来ている項目が少しでも増えるよう、意識した行動を継続する。 ・内外部の研修を出来るだけ受講し現場の活動に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目の再確認や振り返りが行えていなかった為、意識向上には繋がらなかった。 ・研修の企画及び参加が消極的であった為、スキルアップが図れなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公式の評価表だけでは評価が難しいので、利用者の満足度評価を添付するなどの工夫をしてみようか？ ・アンケート結果でマイナスポイントであった項目を一つでもプラスになるよう、職員それぞれに目標を持ってもらえれば向上に繋がると思う。 ・前回のアンケート結果よりは「できている」が増えていたと思う。 ・年度の途中で一度振り返りの機会を設けてみてはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度のスタッフ評価の中からマイナス項目をなくす為、職員一人ひとりの個人目標を設定する（職員全員で事業所の質の向上を図る）。 ・利用者及び利用者の家族様に事業所の評価を実施。その評価をもとに課題の見直しや運営向上に繋げていく。
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・入口付近の華やかな演出は今後も継続していきます。 ・防犯面の配慮と、活動の様子を見ていただくことで、わからないとの回答を少しでも減らす努力をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関付近は家族様の協力(お花の設置)や、季節ごとの壁画で明るい環境を整えることができた。 ・事故防止と防犯対策を兼ねた対応は継続的に実施出来ていた。 ・回答の「わからない」を減らす取り組みはほとんど行えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1階の活用について誰も居ないと暗いイメージ。また通りがかった際に活用されていないと何をしているところか分からない。 ・1階と2階を使い分けることで日常にメリハリがつき、動く機会を増やせるのではないかな。 ・デイサービスの利用で動く機会が減らないよう、一日のどこかで使い分ける時間があってもよいのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1階の活用を増やせるよう日課の見直しを図り、計画的に取り組めるようにする。 ・日常生活の活動範囲が広がるようフロアの使い分けを行う。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で行われる行事には可能な時は参加をします。その際は現場の職員も一緒に外に出向けるように努めます。 ・地域との関わりに繋がる会議等にも可能な限り参加するよう努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用や関わりを増やす為、地域の行事には可能な限り参加を試みる事が出来た。 ・地域会議の開催把握からではあったが、知り得た開催情報については積極的に参加することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な時はいきいきデイの参加もされているのでありがたい。 ・例えば学生さんたちのボランティアを招いて交流会を図ってみてはどうか。それにより利用者が教える立場になれば喜ばれるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催される行事は継続的に参加。その際参加職員に偏りがないよう取り組む。 ・事業所より新たな関係性作りを図り、地域と関わる範囲を広げて行く。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域その他で開催される行事に利用者と共に参加をして参ります。 ・課題である訪問数を増やし、様々な関わりに繋げていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・C とほぼ同回答になるが、本園で行う行事にも合同で企画し、交流を深めている。 ・訪問を中心とした利用者の獲得は難しいが、独居で生活されている利用者への細かな訪問支援は行えている。 	<p>(地域包括支援センターより)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別地域会議を開催しているので、困って居られる方がいれば包括を利用してほしい。小規模事業所が自治会長や民生委員を集めるのは大変なので包括を活用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等で地域の方と関わりがある際に、小さな声（困っていることがないか、またそういう方がいないか）もひろえるよう耳を傾けていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・隔月の会議を確実に開催し、各委員との交流を深めます。 ・会議時において、活動状況をイメージできる内容報告に努めます。 ・事業所で開催できる行事を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催ごと忌憚のないご意見を頂く事ができ、その中で課題として挙げた意見は解決に向けて取り組むようにしている。 ・事業所内での行事開催は実施に至ることが出来なかった（管理者の認識及び調整不足のため）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善課題や意見をもとに運営のステップアップにつなげていく。 ・地域のつながりを大切にし、必要とされる事業所づくりを目指す。 ・運営推進メンバーにも協力をいただき、やすらぎ古市館の認知度を広げていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・委員も巻き込んだ防火訓練を実施します。 ・事業所内メンバーでしっかりと防災計画を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回（9月と3月）の消防訓練は計画通り実施。 ・運営推進メンバーを含めた開催は、計画不十分であった為実施出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水害対応や救急隊を活用した訓練もあるので、色々なことを想定した訓練も試みてはどうか。 ・避難用の滑り台も使用したことがなければ体験しておくべき。職員全員が出来るようになることが前提。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進メンバーを含めた消防訓練を実施する。 ・自然災害（風・水・地震等）にも早急な対応を図り、利用者及び職員の安全を確保する。

